

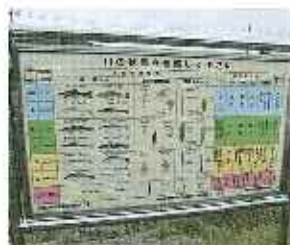
川を守る人たち



～永田川を守るため、こんな活動をしています～



永田川の調査



永田川生物の案内板



豊富な水が秋の美りを助けます



水害対策施設見学



永田川の水質検査（良）



ふるさとの ～ 永田川 ～ きれいにしよう!!



多くの水鳥がいます！



憩いの広場整備開始



手馴れた作業



一つ一つ愛情を込めて♪



硬い土を耕してま～ず



花壇を作りました!!



手作りの標札立



“おつかれさまでした”

編集後記

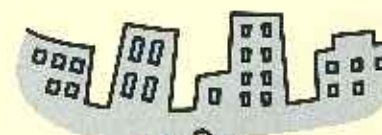
谷山北まちづくりワークショップ委員会では、谷山北地域の九つの小学校区を横たわるように流れる永田川を、もっと身近に住民の方々に知っていただくため、永田川散策マップを作ってみました。

決して上手に出来ているとは言えませんが、委員が分かる範囲で調査し、現地を訪ねながら作成しました。これを開き見たときに、ほのほのとした温かみを感じていただけたら幸いです。そして、このマップが自然豊かな永田川に興味を持っていただけるための一助となればと思います。

今後とも、委員一同微力ながら、ふるさと永田川の環境を守るため活動を続けてまいりますので、地域住民の方々のご協力をお願いいたします。



永田川



ふるさと発見!!

散策マップ





永田川及び周辺の自然・史跡等 散策マップ作成にあたって

谷山北地域まちづくりワークショップ委員会
会長 本山 忠 幸

谷山北地域まちづくりワークショップ委員会は、平成20年7月に鹿児島市内を13地区に区切ったその1つとして設立されました。以来今日まで、この地域の課題は何か、それを解決するためにはどうしたら良いかと、各委員の意見交換や地区民のアンケート調査・街歩きの実践・地域情報紙の発行・地区内町内会長との意見交換等を重ねて参りました。

その結果、谷山北地域の課題の1番目にあがったものが、「永田川的环境保全活動」でした。谷山北地域の各校区は、多かれ少なかれ永田川に接しており、地域の大河として親しまれているが、永田川を詳しく知っている人は少ないのではないかと。そこで、次の4つの活動プランを立てました。

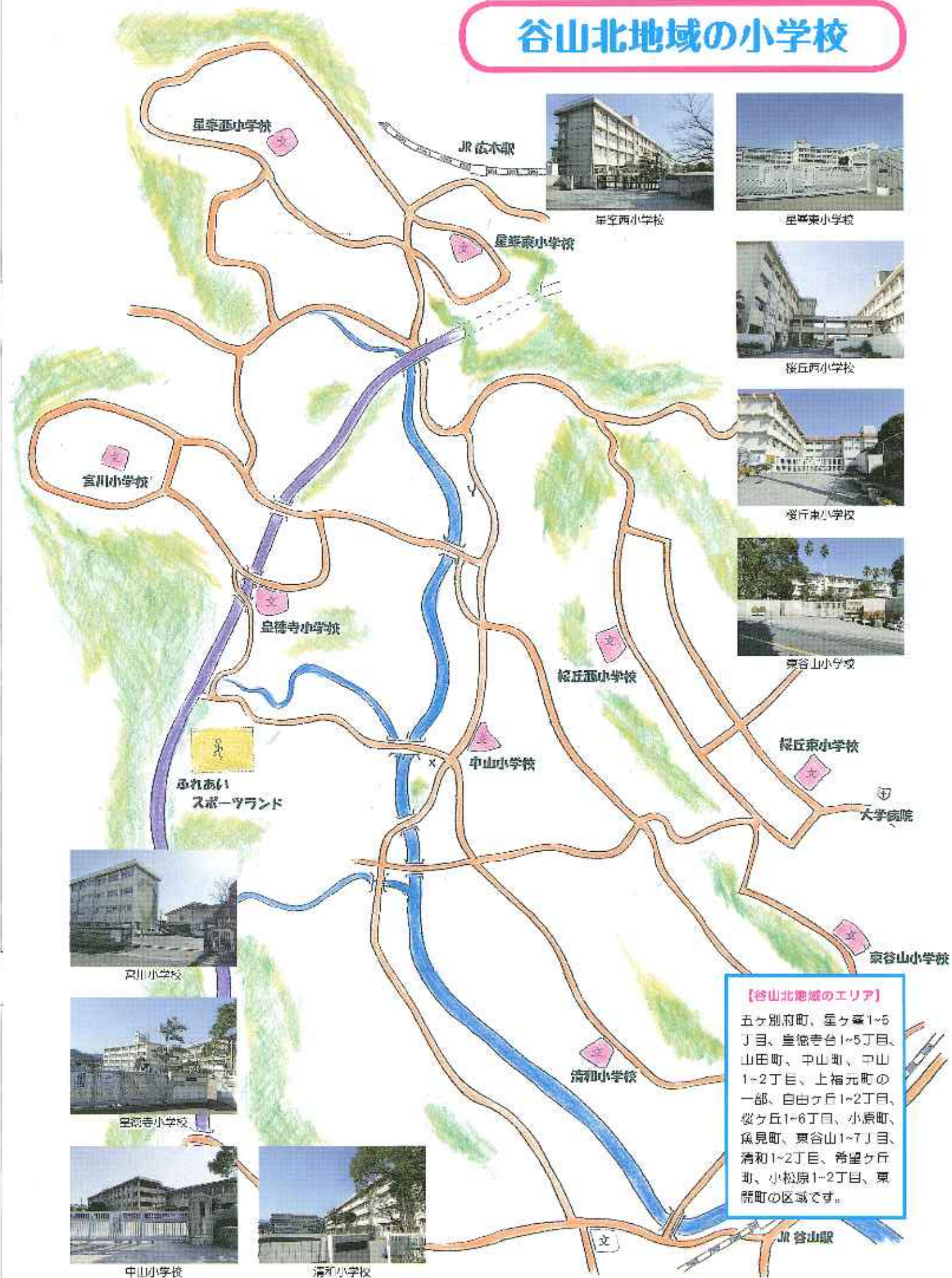
1. 永田川マップの作成
2. 永田川「憩いの広場」整備
3. 永田川クリーン作戦の実践
4. 永田川体験活動の実施 等です。

この度、「永田川及び周辺の自然・史跡等の散策マップ」を作成することにしました。

- 永田川には、沢山の野鳥（コサギ・アオサギ・ゴイサギ・マガモ・セキレイ…）が、飛来し生息しています。野鳥の観測に適しています。
- 永田川は多くの用水路に水を注ぎ、農業生産を支えると共に私たちに憩いや安らぎを与えてくれます。川には、コイ・フナ・ウナギ・カメ・メダカ・オイカワ…等の魚類や水生植物も豊富です。水辺の生物とふれ合うことを通して、身近な自然を感じることができます。
- 川の周辺には、市の施設や史跡等もあります。それらを探訪しながら健康づくりウォーキングマップとしても活用することができます。
- 永田川と山之田川の合流地点（谷山北公民館の近く）に憩いの広場・花壇を設置して、ヒガンバナ・スイセンの球根を植え付けました。

永田川は、谷山の誇り・自然の財産です。このマップが永田川やその周辺の自然・史跡等に愛着を持って親しんでもらうと共に今後も永田川を美しく保っていくために、環境保全（クリーン活動）等にも関心をもって散策していただくことを願っています。

谷山北地域の小学校



★ 史跡めぐりコース (その1) ★

波之平刀匠遺跡

薩摩刀の名工波平行安派の遺跡です。初代波平行安は、その名を橋口正国という大和の国の刀匠で、谷山海岸の砂鉄と背後の山の木炭に注目して永延(987~988)年間のころ、武の国薩摩に下り、この地に住み着いたといわれています。

波之平の名称の由来は、橋口正国が谷山に来て、刀剣づくりに成功し、大和に住む家族を呼び寄せました。瀬戸内海を航行中、暴風雨に遭い、「私の打ったこの一刀を海神様に捧げますから、なにとぞ風波をやわらげ給え」と祈って、一刀を海中に投げたところ風波が静まったことから、「波之平」と命名したと伝えられています。



奥龍蔵権現

東谷山4丁目波之平の通りを過ぎ、東谷山小学校へ行く登り坂の入口に奥龍蔵権現の石祠があります。この地は江戸中期以来薩摩新刀の名鍛冶屋師、奥元平、元武、元安の三兄弟の鍛冶場のあった所です。

南北朝時代、谷山の郡司谷山隆信の曾孫忠重が、この奥の地150町歩を領し、初めて奥氏を名のりました。忠重は谷山の総鎮守の神、伊佐智佐権現の分霊を勧請して氏神とし、奥龍蔵権現と呼ぶようになりました。忠重から十代目の忠清は、初めて刀工となり、この地で刀鍛冶をはじめました。関ヶ原戦後、島津十九代光久の命により、刀と共に釣針をつくり、丸に十二剣の家紋を賜りました。



塩釜神社

小松原二丁目にあり、塩釜大明神とも呼ばれています。祭神は、塩土老翁命で、昔から製塩業者の守護神ですが、製塩、漁業、航海安全、安産の神として、村人の信仰も厚かったのです。

小松原公園、玉里別邸跡

玉里別邸は、島津久光(第二十九代忠義の父)が二男忠清の病氣療養のために、小松原に建てられました。一般には久光の住んでいた玉里邸(現在の鹿児島女子高等学校)に対して、玉里別邸と呼ばれ、その建物は平家瓦葺60坪で周囲に松が植えられました。

小松原一帯は、海岸が埋め立てられ三号用地になるまでは、永田川の下流の海岸にあって、白砂青松の景勝地でした。現在は市の公園となり、市民に親しまれています。



硝煙倉跡

小松原2丁目永田川に沿った道路わぎに、高さ140センチ、巾37センチの角柱に火神、水神、山神、地神、稲荷、裏面に元治二年乙丑四月吉日謹立刻した碑があります。この地域に薩摩藩の硝煙倉(火薬製作所)がありました。



清和校区史跡めぐりコース